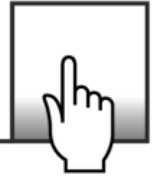


みずなみ議会ちゃんねる。



9月定例会提出議案の概要	2
委員会の審議	2～5
市政一般質問	6～11
行政視察報告	11
議会のICT化・視察受け入れ状況	12
議会報告会	13
議決結果一覧・編集後記	14

発行／瑞浪市議会 編集／議会広報広聴委員会
TEL／0572-67-1112 FAX／0572-68-2043
E-mail／gikai@city.mizunami.lg.jp



10月8日の秋晴れの体育の日、市民福祉センターにおいて「みずなみ福祉まつり」が開催されました。福祉まつりは福祉活動について市民の理解を深め、より良い地域づくりについて考えるイベントです。当日は各施設等の関係者やボランティア団体の方々による様々な催しが開催され、来場した人々は楽しい一日を過ごしていました。

9月

定例会概要

平成30年8月29日から10月1日まで定例会が開催されました。上程された議案は、承認案件1件、条例案件2件、その他の案件8件、人事案件2件、予算案件2件、認定案件8件、議員発議による意見書1件です。主な議案は次のとおりです。なお、委員会での審議内容は2～5ページに、議決結果は14ページに掲載してあります。

条例案件

●瑞浪市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について【議第54号】

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴う、家庭的保育事業等における代替保育及び食事提供の特例の規定を改めるための所要の改正

●瑞浪市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について【議第55号】
防火対象物の重大な消防法令違反の内容を公表する規定を設けるための所要の改正

その他の案件

●市道路線の認定について【議第56号】
西半入道・西定線を新たに市道として認定

●市道路線の廃止について【議第57号】

●市道路線の認定について【議第58号】
天徳線の路線区間変更に伴い、同線の廃止及び認定

●市道路線の認定について【議第59号】
【議第63号】

道路の適切な維持・管理を行うため、中入洞1号線から中入洞5号線までの5路線を新たに市道として認定

(意見書)

●小・中学校における空調設備の設置促進に向けた財政支援の拡充を求める意見書の提出について【発議第3号】

瑞浪市議会は、小・中学校へのエアコン設置促進に向けた財政支援の拡充を求める意見書を全会一致で可決し、10月1日付けで国に送付した。

予算決算委員会

9月18日から20日までの3日間委員会を開催し、補正予算及び決算を慎重に審議をした。主な内容は次のとおりである。

平成30年度 補正予算

危険なブロック塀等の撤去補助

概要 地震等の災害時における安全・安心を確保するため、危険なブロック塀等の撤去促進を図る補助制度を創設した。

主な質疑

問 撤去に、国や県の補助メニューは活用できないか。

答 緊急性のある事業のため、まずは一般財源で撤去を行う。今後、国の補助等が示された場合には活用していきたい。

エアコンの設置

概要 猛暑対策として、全ての小中学校に空調（エアコン）を設置するため、空調設備工事の設計を委託する。

主な質疑

問 いつ設置されるのか。それはどのような設備か。

答 設置は、全ての小中学校で同時期にできる限り早く一斉に行う。設備の仕様は各学校の構造やエアコンの設置数などを踏まえ、設計の段階で考えていく。

ドローンを導入

概要 市内の道路維持管理や災害時での消防活動を促進するためにドローンを2基導入する。

主な質疑

問 どのように導入し活用するのか。

答 豪雨や地震等に伴い被災現場の状況を迅速に調査し復旧に活用する。操縦資格が必要なため、土木課職員と消防署職員一名ずつ資格取得のため研修会に参加する。農林の災害にも対応するなど、様々な場面で活用していく。



平成29年度 瑞浪市決算を認定

一般会計・5特別会計

歳入総額……………249億9,569万円

歳出総額……………236億1,525万円

実質収支額……………12億9,262万円

水道事業会計（収益的収支のみ掲載）

歳入総額……………10億9,038万円

歳出総額……………10億7,606万円

下水道事業会計（収益的収支のみ掲載）

歳入総額……………11億5,487万円

歳出総額……………11億1,015万円

一般会計決算の概要

歳入歳出の決算額はそれぞれ168億985万円、158億6,566万円で、前年度と比較し歳入が0.1%の増、歳出が0.2%の減という結果であった。市税（49億6,502万円）をはじめとする自主財源は全体の43.8%、地方交付税や国庫支出金等の依存財源は56.2%となった。

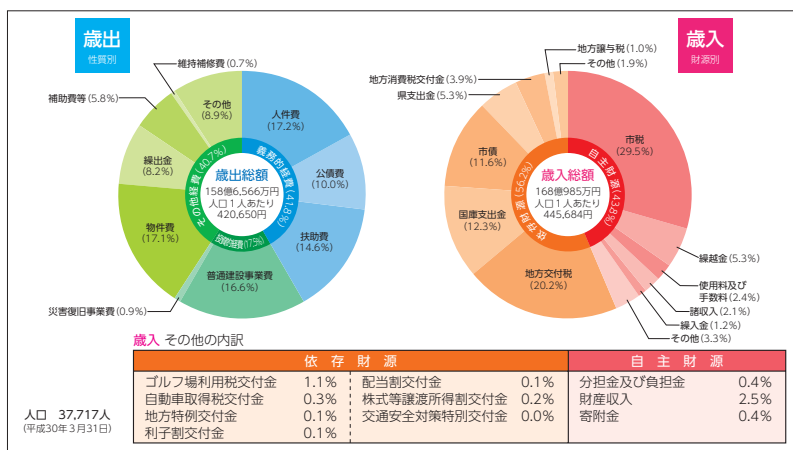
主な事業は、防災体制の強化として本庁舎耐震補強事業、庁舎長寿命化事業費の合計額は繰り越し分も含め4億3,193万円。

子育て環境の整備として、稲津幼稚園大規模改修事業に7,985万円。

教育環境の整備として、瑞浪北中学校施設整備事業に5億6,353万円が投じられた。

公債費（借入金返済）は15億8,728万円（歳出の10.0%）であった。市債残高は134億9,021万円で前年度と比較し、3.5%の増となった。

グラフで見た歳入歳出決算（一般会計）



平成29年度決算審査

長寿クラブへ業務委託

概要 瑞浪市長寿クラブ連合会に高齢者地域見守り業務を委託した。

主な質疑

問 長寿クラブ連合会への業務委託ではなく活動助成金の対象業務とすることはできないか。

答 長寿クラブ連合会には、活動助成金50万円を毎年度交付している。これとは別に、高齢者への声掛けや行政がお願いするチラシの配布などの業務を委託している。こうした委託業務についても助成金の対象とすることについては今後の検討事項とする。

企業説明会を開催

概要 高校生の市内企業への就職を促すために開催し企業ガイドブックの作成や雇用に関するセミナーを行った。

主な質疑

問 説明会のPR、参加状況及び今後の対応はどうか。

答 企業ガイドブックを作成し東濃・可児エリアの各高等学校に配布した。来場者100名中、59名の高校生が参加した。高校生に対する企業PRの絶好の機会と捉え今後も継続して開催する。

イノシシ捕獲報奨金

概要 電気牧柵の設置補助や有害鳥獣捕獲を実施した。

主な質疑

問 捕獲報奨金の見直しは行われたか。

答 イノシシの捕獲報奨金は1頭当たり8,000円であったが、平成30年度より鹿と同様の1万円とした。

特定空家に代執行

概要 略式代執行による特定空家等の除却工事や対策協議会の開催等を行った。

主な質疑

問 特定空家の除却後の状況と除却費用の回収はどうか。

答 陶町地内の特定空家の除却を行い現在は更地になっている。除却に係る契約額は合計598万8,000円であり、市費で除却を行なった。

瑞陵中学校の解体

概要 瑞浪北中学校の施設を整備する。

主な質疑

問 校舎と体育館はいつ解体するのか。

答 平成32年度に着工し、その年度内に完了予定である。

健康診査と口腔健診

概要 市民の健康維持を促進するためにぎふ・すこやか健康診査や、ぎふ・さわやか口腔健診を実施した。

主な質疑

問 健康診査、口腔健診の県平均受診率との比較はどうか。

答 健康診査は県平均が21.8%で本市が13.4%、口腔健診は県平均が5.2%で本市3.3%であり、どちらも県の平均より低い状況である。

10事業を「事業評価」

9月14日、全議員が所属する予算決算委員会において、平成29年度決算にかかる事業を評価した。議員一人一人が市民目線に立ち、事業の目的、予算、執行内容、効率、必要性・方向性など、各項目別に意見を出し合い、評価点を付け委員会で評価を決定した。

これを受け、市議会として取りまとめた事業評価書を10月12日に市長へ提出した。



評価書を市長に提出

	事業名（事業内容）	評価 （点）	評価に至った主な意見
1	移住定住促進奨励金交付事業 （移住定住世帯に奨励金を交付）	B 68.3	継続の必要性が高い事業であるが人口減に歯止めをかけるまでの事業にはなっていない。今後起きうる働エィ・ダブリュ瑞浪による人口増は一時的なもので事業の成果ではない。
2	防犯灯設置事業 （防犯灯の設置）	A 84.7	設置達成度も高く順調である。必要に応じ、住民の意向に沿うように設置されたい。設置後の維持管理費は地元負担で行われるが、耐用年数を経過したものへの対応も、将来的には検討していく必要がある。
3	家屋全棟調査事業 （市内の家屋数調査）	B 77.7	航空写真との整合でかなり多くの家の調査が必要である。職員増も検討し、迅速な調査につなげてほしい。
4	妊婦健康診査助成事業 （妊婦の健康診査を助成）	A 88.3	目標の達成度は良好であるが目標値を上げて更なる成果を期待する。
5	ALT 派遣事業 （外国語を教える外国人講師派遣）	B 77.3	グローバル社会において、英語は今後益々必要不可欠である。今後更なる改善が必要である。
6	旧陶中学校転用大規模改修事業 （旧陶中学校を改修し陶小学校に）	A 85.7	将来さらなる統合が進んだ場合にはこの手法が再び使えると考える。 旧校舎を活用することで事業費を抑え、比較的新しい校舎で学習できることは子どもたちにも好評のようであった。
7	ごみ資源リサイクル推進経費 （リサイクル推進経費）	B 76.3	毎年の目標値が同じではリサイクルの推進に繋がらない。数値を上げる努力をしていくべき。各自治会での意識を高めるために、売却代金を還元できる方法を取り入れている自治体もある。検討したらどうか。
8	農畜産物加工品開発事業 （地元農産物加工品開発事業）	C 56.7	目標数値に対し実績が伴っていない。商品のPRが不足しているのではないかと。生産量の増加も含めてもっと向上させるべき。
9	デマンド型交通運行事業 （予約型運行形態の交通手段事業）	B 61.3	稼働率が上がってきている。市民に周知されつつあり、人によっては生活の一部となってきた。土日運用や当日予約、乗降場所等課題もあるので市民の使いやすい交通となるようにしてほしい。
10	水道：緊急時給水拠点確保事業費 （飲料水の安定供給のための事業）	A 86.3	水道事業は、市民の生存権と公衆衛生の向上に責任を持って行っている。その為、基盤強化は怠ってはならない。事業費は高額で、利用料金の負担増が心配される。

A 拡充する(80以上) B 継続する(60～80未満) C 改善・効率化し継続(40～60未満) D 見直しの上縮小(20～40未満) E 廃止も視野に検討する(20未満)

総務委員会

火災予防条例の一部改正

概要 防火対象物の重大な消防法令違反を公表することによって、施設利用者の安全に対する認識を高めるとともに、防火管理業務の適正化を図るため、違反の内容を公表する規定を新たに定めるもの。

主な質疑

問 防火対象物の重大な消防法令違反とはどのようなものか。

答 対象施設における、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知機設備の未設置が対象である。

問 適用対象となる建物はどのようなものか。

答 飲食店、百貨店、宿泊施設などの不特定多数の人が利用する建物、及び病院、福祉施設などの避難が困難な人が利用する建物が対象となる。

問 公表の内容はどのようなか。

答 公表内容は、防火対象物の名称と住所、及び公表の対象となる違反である。

問 公表すること違反の抑止に効果があるか。

答 公表の目的は抑止ではなく、市民に情報を提供することであり、防火管理者への意識啓発や指導を行うっていくためである。



屋内消火栓

民生文教委員会

家庭的保育事業所等の体制整備

概要 家庭的保育事業所等において、代替保育に限り小規模保育所、事業所内保育所を連携施設にする。

また、一定条件を満たしている事業所からの給食の外部搬入を可能とし、調理施設整備の猶予を5年から10年とする条例改正。

主な質疑

問 現在市内にある家庭的保育事業所では、給食調理を外部委託しているのか。

答 現在市内にある家庭的保育事業所は1ヶ所だが、調理設備がないため、弁当を持参してもらっている。

問 食物アレルギー対応への配慮等ができると認める基準はどのようなか。

答 実際に保育所等へ給食を搬入し、アレルギー対応ができている実績があることを確認して許可することとなる。

問 本市には小規模保育所が必要であるが、今後の予定はどのようなか。

答 平成32年度までに1ヶ所増設する計画を策定し、今回はその計画に沿って募集した。今後の計画は地域の事情を考慮しながら策定していく。



市内の家庭的保育事業所

経済建設委員会

瑞浪恵那道路建設に伴う新たな市道

概要 土岐町・釜戸町間で、幅員5m・全長294mを市道西半入道・西定線として新たに整備。

主な質疑

問 既設道路がない場所での土地買収はどのように、地権者に対する説明会は行われているか。

答 市が土地買収を行い工事は国交省が行う。工事車両についての地元説明会は開催済みであり、地権者に対しては丁寧に説明していきたい。

市道の起点を変更し改良工事を行う

概要 市道天徳・本郷線の拡幅工事に伴い、市道天徳線の起点変更を行い新たに改良する道路を市道として認定。

主な質疑

問 地元の人々の利用度が高い道路であり、通行止めになる部分については了解されたか。また、新たな交差点の出入りについて利用者の理解は得られているか。

答 通行止めするという周知が来ていないかったため、今年度再び地元説明会を行い、代替え道路として県道に出る道路を改良すること地元の方の了解を得た。



改良される新たな市道

市政一般質問

市政一般質問では、議員が市長等に対し、行政全般にわたり市の施策や方針など諸問題について質問し、答弁を求めます。

9月定例会では10人の議員が21の標題にわたって質問をしました。質問した議員ごとに主な質問を掲載しています。

樋田翔太（清流会）

- ・子育てしやすいまちの実現について
- ・市民の声の反映について

大久保京子（新政みずなみ）

- ・地域包括ケアシステムの深化・推進について
- ・市道や公園等の維持・管理について

小木曾光佐子（新政みずなみ）

- ・7月の豪雨災害について
- ・広域観光について
- ・太陽光発電システム補助制度について

榛葉利広（公明党）

- ・災害備蓄品と災害時の備えについて
- ・不育症について

柴田増三（新政みずなみ）

- ・市民生活の現状についてのアンケート調査報告書から見える現状と第6次瑞浪市総合計画について

渡邊康弘（新政みずなみ）

- ・瑞浪北中学校スーパーエコスクールについて
- ・清流の国ぎふ健康ポイント事業について

舘林辰郎（日本共産党）

- ・リニア日吉トンネル新設工事における重金属を含む発生土仮置き場計画について
- ・猛暑から市民を守る対策について
- ・医療制度改正における個人負担について

小川祐輝（新政みずなみ）

- ・周辺地域の医療体制の確保について
- ・小・中学校におけるエアコン整備の計画について

熊谷隆男（新政みずなみ）

- ・市政運営について

大島正弘（市民ファーム）

- ・広報みずなみの発行事業について
- ・瑞浪超深地層研究所における火災原因究明について
- ・美濃焼における「みずなみ焼」の地域ブランド化について



樋田翔太（清流会）

子育てしやすいまちの実現

問 未就学児童の保育施設を利用する割合は年々増加しており、子どもを預ける件数は増加している。さらに大型企業進出による人口増や幼児教育の無償化による利用数の増加も考えられる。保育施設の拡充が必要ではないか。また、急な病気など一時的に預けたい場合への対応はどのようなか。

答 保育施設の利用割合を平成25年と30年で比較する

と、3歳未満児は20%から25%に、3歳以上児では83%から90%に増加している。今年の4月の入園では、みどり、一色、桔梗の3園で抽選があり、第2第3希望の園に入園となった。瑞浪、明世地区の未満児増から保育施設の新設を公募し現在審査中である。

一時預かりでも需要が増加しており、委託先を増やし対応している。

市民の声に答える市政

問 市民アンケートや地域懇談会「市長と語る会」などを通して市民の方から数多くの意見が寄せられている。地域懇談会では市からの回答があるが、各種団体との語る会や、アンケート調査で寄せられた意見に対して回答すべきではないか。

アンケートで寄せられた意見への回答を検討する。

答 市民アンケートでは毎年1000人に無作為抽出で送付しており今年は357人から回答を得た。そのうち、自由意見の欄に書かれた方は132人であった。学生や各種団体との語る会の内容や、市民ア



市長と語る会の様子

大久保京子（新政みずなみ）



地域包括支援センターを委託

問 地域包括支援センターは、北部と南部の2ヶ所に委託設置されることになる。設置時期や今後のスケジュールはどのようなか。

答 委託時期は平成31年10月を予定している。委託先は公募型プロポーザル方式により事業者を決定する。今年中に募集を開始し、来年2月に事業者の選考をする。その後、運営協議会に諮り委託事業者を決定し年度内に委託契約を締結したいと考えている。委託することで、総合相談窓口が整備され支援体制が強化されるため、現在開設している在宅介護支援セ

ンター2ヶ所については、来年9月末で廃止する予定である。



地域包括支援センター

高齢化で里親制度の継続危機

問 市道や公園等の維持管理をされる里親の団体は、高齢化などにより辞められる団体が多いと聞くが里親制度をどう継続していくのか。

答 維持管理には、市民の協力が必要不可欠であり、今後も継続的に活動していただきたい。

多くの方々が新たに参加できるように広報みずなみ

や個別説明によるお願いをしていく。

また、沿道や公園近辺の企業の参加を促進するため企業名を掲示した看板の設置を進める。

さらに里親に貸し出す草刈り機等の資機材の充実、防草対策による維持管理の負担の軽減により、活動しやすい環境の整備を進めることについて。

小木曾光佐子（新政みずなみ）

災害や台風時の対応と対策は

問 7月の豪雨災害の状況と対策、台風時の対策はどのようなか。

答 市内各地で道路、河川合わせて5か所の土木施設被害があった。陶町大川の市道滝坂・十三塚線にかかる橋が崩落し、現在も通行止めになっている。この道路はコミュニティバスの路線ともなっており、県砂防課及び国土交通省中部整備局と打ち合わせを行い、早

期の修復完了を目指している。

特に台風の襲来時には緊急対策ができるよう、市内建設業協会や管工事組合、多治見砂防国道事務所、多治見土木事務所等と体制を整えている。また人的被害の軽減のため、昨年被害のあった猿爪川には危機管理型水位計を設置した。年度内に一級河川の8か所に設置を予定している。

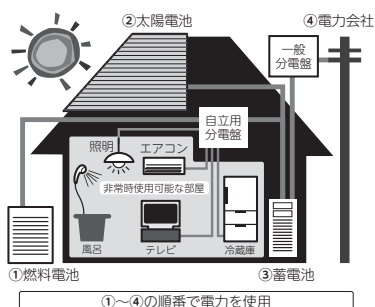
再生可能エネルギーの今後は

問 本市における太陽光発電システム設置補助制度が今年度で終了となる。新たな制度として蓄電池等への補助金についてどのように考えているか。

答 今後、既存の太陽光発電設備は、余剰電力の売電から自家消費に向けた蓄電池設置に対する需要が高まるものと考えている。

また太陽光発電だけでなく、エネファーム（燃料電池）等の発電設備は、災害等による停電時に効果が高く、一定の需要があるものと考えている。しかし、これら

の設備導入には多額の費用がかかるため、新たにエネルギーの自家消費を促進するための補助制度を創設し、平成31年度を目標に実施したいと考えている。



再生可能エネルギー利用のシステム



榛葉利広 (公明党)

災害時の備えを万全に

問 災害等によりエレベーター内に閉じ込められた時に活用できる飲料水や緊急用トイレが内蔵されたエレベーターチェアを市の施設に設置できないか。

答 南海トラフ大地震においては、大阪府北部地震と同等の震度6弱が想定されており、市の施設においてもエレベーター内への閉じ込めが発生する可能性がある。

現在市には、9施設に合計11基のエレベーターが設置してある。万が一閉じ込

めが発生した場合の対策として、エレベーターチェアの必要性について、今後検討していく。



緊急時に使えるエレベーターチェア

不育症に関する周知啓発を

問 妊娠はするが育たない病気で、治療をすれば出産できる可能性の高い不育症について、気軽に相談できる体制が必要だが、相談窓口を充実させ周知啓発を図ることについてどのように考えるか。

答 不育症を疑う方が必要な相談を受けられるようにすることは大変重要なことであると考えている。

県では、各務原市にある健康科学センター内に「不

妊相談センター れんげ相談」を設置し、不育症についても医師や助産師などの専門職が相談にあたっている。

市としても、窓口での相談対応はもとより、市民の方には不育症に関する正しい知識を持っていただくための情報提供をより一層行うことで、不育症に関する悩みや精神的な不安を少しでも軽減できるよう、支援していきたいと考えている。

市民アンケート調査から見える本市の現状

問 調査報告書から見える本市の現状と、優先的または積極的に取り組む課題はどのようなか。

答 平成29年度と比較すると、「住みよさ指標」「定住指標」「市の現状における満足度」は少しずつだがどれも増えている。平成26年度に策定した第6次瑞浪市総合計画を前期5年間で見る

と、市民は市政に対し概ね満足している。健康福祉分野では評価が高い反面、公共交通、観光振興では3割程度の評価である。市民ニーズの把握に努め、市民が重要と思う割合が高く、市民の指標評価が低い施策に政策優先順位が高いと判断し、積極的に見直し改善に努めたい。

第6次総合計画

後期基本計画の施策

問 後期基本計画への反映はどのようなか。

答 アンケート結果を踏まえ、各施策の指標の推移を確認し、施策・事業の見直しを図る。移住定住政策など人口減少の克服と地域活性化に資する地方創生の更なる取り組みやJR瑞浪駅周辺再開発、道の駅整備、安全・安心で質の高い教育環境の整備を進める。

公共交通施策では、買い物弱者、高齢者福祉の観点も含めた持続可能な公共交



デマンド型交通の運用

通体系の構築など、市民ニーズの高い施策や社会情勢の変化を捉えた施策を計画に反映させる。

渡邊康弘（新政みずなみ）



スーパーエコスクールを 活用した環境教育

問 環境教育を重視したスーパーエコスクールを市内公立小中学校や地域にも活用できないか。

答 瑞浪北中学校の生徒のための環境教育だけでなく、他校の児童生徒や保護者、地域の方にも環境を学ぶ場として活用していただくことも可能となる。

地域と共に歩む学校を目指し、市民の皆様にも開放していき、要望があれば学校を見学する機会もつくる。多くの方にスーパーエコスクールの素晴らしさを体験していただけるように、情報発信できる体制も整えていく。

特色のある健康ポイントに

問 清流の国ぎふ健康ポイント事業で本市独自のメニューはどのようなものか。

また、生涯スポーツ活動、緩和ケアサロンや認知症カフェなどの健康に関する事業も、市民の自主的な健康づくりを促進する意味で本市の新たなメニューとして検討をすべきではないか。

答 各種がん検診や職場健診、人間ドックなどの必須メニューのほか、健康まつりや健康講演会、介護予防教室、まちづくり推進協議会等が開催するウォーキングなどの健康づくりに関するイベント等を本市独自の

メニューとして指定している。

次年度以降については、新しいメニューの指定についても検討していく。



健康ポイント事業『ミナモカード』

館林辰郎（日本共産党）

リニア発生土の仮置き場 市有地を賃貸借契約

問 リニア日吉坑口工事で、フッ素・ヒ素を含む発生土が出ている。8月21日市議会に対し、最終処分までの仮置き場を本市クリーンセンター横の市有地に作る計画の説明が、JRからあった。このトンネル工事付近には、国内最大のウラン鉱脈と、水にふれると酸性水が出る美濃帯も分布する。議会でフッ素・ヒ素の対策について質問したが明らかにならなかった。仮置き場設置に対して本市はどのような対応をしてきたか。

答 重金属を含む発生土は、平成28年10月のJRによる

説明会の時点で既に想定されていた。平成29年6月にJRから仮置き場の相談があり、県の指導や専門家等による検討を依頼し、本年6月に計画が示され妥当であると判断した。発生土は産業廃棄物ではないが、法令などに基つき適切に管理されている。

住民の皆様の理解が得られた後、賃貸借契約に入る。



土岐町の仮置き場予定地

医療費個人負担は

国保・高齢者とも下がった

問 医療制度の改正で、個人負担はどのようなか。

答 本市における今年度の国民健康保険料は、1人当たり89,999円で、前年度より5,065円下がった。均等割については一人当たり4,800円上がったことにより、

子どものいる世帯は増額になった。国においては、子どもの減額措置について引き続き議論していくこととしている。後期高齢者医療保険は前年より均等割が1,476円、所得割が0.8%下がり、高額療養自己負担は上がった。



小川祐輝（新政みずなみ）

小・中学校のエアコンの

早期整備を

問 例年の2倍以上の猛暑日が続き児童や保護者からの要望が高まっているなか、暑さ対策や学習環境向上のためにエアコンの早期整備が必要だと思うが本市の考えはどのようなか。

答 小・中学校のエアコンの整備については瑞浪北中学校建設後、順次計画的に整備する計画であったが、今年の猛暑を受け、一刻も早く全ての学校に整備する必要があると判断した。速やかに設計業務に着手すると同時に設置工事にかかる

新年度予算に織り込みたいと考えている。急激な需要の増加が予測されるが、臨機応変かつスピード感を持つて可能な限り一斉に整備できるように取り組みたい。



エアコン整備（イメージ）

周辺地域の医療体制の確保

問 将来的に医療機関がなくなる可能性のある地域がある中、医療体制を確保するためにどのような対策を考えているか。

答 地域における医療体制の確保は大変重要なことであると考えている。本市の公的病院である東濃厚生病院に対し、医師の確保や周辺地域における医療機関の

存続について協力をお願いしてきた。現在、東濃厚生病院では地域を支える医療を提供するため、来年度の夏以降を目途に周辺地域における巡回診療を実施するように準備を進めている。市としても地域医療を守るため、可能な限りの支援を行っていききたい。

市政運営

本市の今後取り組むべき課題

問 本市において、今後取り組むべき課題をどのように把握しているか。

答 最重要課題は、人口減少対策であり高齢化対策と併せて取り組む課題である。人口減少が起因となり日常の買い物や医療など生活関連サービスの確保が困難になる一方で、高齢化により医療や介護のニーズは増大し、また公共交通の充実が求められる。

その医療では、医療機関の整備、医師の確保、救急

医療体制、地域の診療所など、市単独以外に広域連携・官民連携でこの地域の安定的な医療を確保していく。公共交通では、更なる利便性の向上には、今後より一層の対策が必要と考えている。



瑞浪市役所

次期市長選挙

出馬表明と多選批判への見解

問 次期市長選挙への出馬表明および首長の多選批判に対する見解はどのようなか。

答 人口減少問題への対応を初め、新丸山ダム、リニア、瑞浪恵那道路など国家プロジェクトにかかわる課題や瑞浪駅周辺の活性化、地域医療の確保の問題など難しい課題に対し、これまでの経験と知識を活かし、引き

続き市政を担うべく次期市長選において立候補を決定した。

多選批判については、自身の健康・気力・体力に問題は無く意欲も十分にあり、性格上、独善的・専制的にはならない。組織も適材適所に留意し、市民、議会、職員、みんなで考えながら進めていく。

大島正弘（市民ファーム）



「広報みずなみ」配布負担軽減

問 県内各市における広報の発行回数はどのようで、月一回の発行にした場合の経費はどれ程削減できるか。

答 県内21市中、月2回発行は本市を含め6市のみであり、その他の15市は月1回の発行であり、係る経費については年間約250万円の削減が見

込まれる。

また、広報の配布については、区長をはじめ自治会関係者の皆さまに協力いただき配布をしており、負担軽減の配慮として、各種文書については各戸配布ではなく、回覧として依頼し、可能な限り「広報みずなみ」に掲載を行い、各自治会の役員に対する負担軽減に配慮し、改善に努める。

火災原因の特定はできず

問 瑞浪超深地層研究所の深度200mで発生した火災の際、どのようにして発見、消火され、瑞浪市消防本部の出動はどのようなだったか。

答 また、焼失面積、消火後の原因調査はどのようにして行われ、原因を特定することはできたか。

答 消防本部が通報を受け出動したのは火災が鎮火した後であり、地上の作業員2名が現場へ向かい出火箇所付近に設置されている水槽から水バケツで消火活動を実施した。当時地下坑内にいた8名は、全員エレベーターで避難をしたと報告を受けた。



深度200m坑内での火災

また、焼損面積は幅1m高さ2mであり、原因調査は県警本部科学捜査研究所が中心となり、現場で調査を行った。火災原因として調査検討した結果、電気と溶断作業の可能性があると考えられたが、直接的な証拠が得られず、原因の特定には至らなかった。今後は、防火管理の徹底及び設備の適切な運用と維持管理に努めるよう指導した。

議会運営委員会行政視察

滋賀県米原市（6月28日）

米原市は人口38,700人、本市とほぼ同人数の市であるが、知名度は本市と比較して全国的に高い都市である。米原市は、議会基本条例を平成26年2月に制定している。本市の平成26年9月制定より半年ほど早いので、その条例の評価検証の手法を学んだ。

◎米原市議会は、検証シートを作成し、アドバイザー（大学教授）等からの外部評価を取り入れ、約1ヶ年もの期間をかけ検証し、その結果に基づき長期的な計画を立て議会活動を行っている。

瑞浪市議会が議会基本条例に対して忠実かどうか再検証の必要性を感じた。

京都府福知山市（6月29日）

福知山市は人口79,000人、本市にも関係が深い明智光秀が築城した福智山城の城下町として栄えた都市である。福知山市議会は、議会の活性化と議会改革については本市より先進事例が多く、関心を持って学んだ。

◎本市議会において参考にすべき事例

- ・ 議会役員選挙の際、立候補者の所信表明演説を実施
 - ・ 市長に対し政策提言書を提出
 - ・ 委員会、会派等の行政視察報告会を実施
 - ・ 議員定数について市民意見交換会を実施
- 瑞浪市議会では行っていないことが多く、非常に驚くと同時に参考になった。



福知山市役所

議会運営委員会 委員長 柴田増三

議会のICT化

タブレット端末等の貸与

市議会は ICT 化を進めることにより、議会活動における情報の検索・収集やペーパーレス化を図るなど、効率的で効果的な議会運営が行なえるよう、タブレット端末等の使用について、先進市へ視察を行ってきた。その後、昨年の 12 月定例会から個人のタブレット端末等の議場等への持ち込みを可能とし、本年 9 月定例会からは全議員分のタブレット端末を購入し、貸与という形で運用している。現在、資料等書類への書き込み機能や議会スケジュール確認、各種連絡機能も追加され、効率的、効果的な議会運営を開始している。



委員会の様子

スマホ・タブレットから閲覧可能

これまで議会のインターネット映像の閲覧はパソコンのみ可能であったが、12 月定例会よりスマホ・タブレットからでも閲覧が可能となります。

市民の皆さま、是非ご覧ください。

平成 30 年 12 月定例会から下記の画像で検索が出来るようになります。



(イメージ画像)

行政視察の受け入れ状況

視 察 日	視 察 者	視 察 の 主 な 内 容
平成30年 8 月22日	北海道剣淵町議会（全議員） けんぶちちょう	・ 農業振興、農業による高齢者福祉対策、雇用の創出及び観光拠点としての農産物直売所について
平成30年10月29日	福岡県嘉麻市議会（議会運営委員会） かまし	・ 委員会の複数所属について ・ 議会基本条例について ・ 議会のインターネット中継について

7/31 第1回議会報告会 開催結果

市議会は7月31日(火)に山田町の「新山田区民会館」、和合町の「和合公民館」、陶町の「水上公民館」の3会場において議会報告会を開催し、86名の方に参加いただきました。

報告会は二部構成で行われ、第一部では3月と6月の提出議案の概要と委員会審議の内容の一部を報告しました。その後、第二部では参加者との「意見交換」を行いましたので、その中での主な声を掲載しました。詳細については、議会ホームページをご覧ください。

瑞浪市

検索

瑞浪市ホームページ ▶ 瑞浪市議会 ▶ 議会報告会
<http://www.city.mizunami.lg.jp/>

意見交換での主な声

超深地層研究所の縦穴を単に埋め戻してはもったいない。何か活用は考えられないか。

答 利用するには中に空気を送らなければならず費用が掛かる。市長が埋め戻すことを決定し、議会も同様の考えである。

埋め戻すことで減る収入はどれほどか。

答 電源立地交付金として毎年5億円、使い道はごみ焼却の燃料代や一部の職員人件費など。3年前に埋め戻すことを県を含め承認、いっこうに埋め戻し計画が発表されないことから議会が全会一致で意見書を提出した。

東京オリンピックで瑞浪の陶器は使ってもらえないか。

答 8月3日から市長は東京へ、陶器、ポーノポークなどのPRに行っている。

きなあつ瑞浪の収益力向上は消費者にどう影響するか、道の駅との共存はできるか。

答 食肉の加工製品など、付加価値の高い商品を販売する。道の駅については場所の選定はされたが、事業主体など詳しいことは今後検討される。

明世小学校への通学路について。通学路の草が伸びていて危険である。明世小学校の入口の道が大変危険である。代替えの道路ができないか。安心安全な道路ではない。通学路も検討が必要である。

答 代替え道路は現実的に無理があるため、現道の安全性を確保していく。

(株)エィ・ダブリュ瑞浪が出来ることで交通量が多くなる。通学路の安全性が確保できないのではないか。今後は子どもの数も増えていくので、統合後の通学手段についても検討が必要である。

答 7時30分から8時30分は生活道路通行を避け、会社入口は左折入場を会社を通じ従業員に徹底いただくよう聞いている。

交替勤務により交通量分散効果もあるかと思う。駅北から通勤バス利用者も多くある。

広報無線が聞き取りにくい。外では何を言われているかわからない。17時の子どもの声はよく聞こえる。

答 防災ラジオ、絆メール、ホームページ等収集の手段はある。特に絆メールは有効である。子どもの声のように通る声での広報が必要と考えられるので、今後提案していく。

通学路のブロック塀の問題はどうなっているか。

答 ブロック塀撤去に係る補助が9月議会に提案される予定である。

県道瑞浪・大野瀬線に防犯灯を設置してほしい。

答 県道なので難しいが、粘り強く要望していく。

* 意見交換等でいただいた貴重な声は、今後の議会活動に活かして参ります。



新山田区民会館



和合公民館



水上公民館

9月定例会議決結果一覧（全会一致）

案 件	議案番号	議 案 名	付託先	採決結果
承認案件	承第7号	専決処分の承認について（平成30年度専第9号 平成30年度瑞浪市一般会計補正予算（第4号））	省 略	承認
条例案件	議第54号	瑞浪市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	民生文教	可決
	議第55号	瑞浪市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	可決
その他の案件	議第56号	市道路線の認定について【西半入道・西定線】	経済建設	可決
	議第57号	市道路線の廃止について【天徳線】	経済建設	可決
	議第58号	市道路線の認定について【天徳線】	経済建設	可決
	議第59号	市道路線の認定について【中入洞1号線】	経済建設	可決
	議第60号	市道路線の認定について【中入洞2号線】	経済建設	可決
	議第61号	市道路線の認定について【中入洞3号線】	経済建設	可決
	議第62号	市道路線の認定について【中入洞4号線】	経済建設	可決
	議第63号	市道路線の認定について【中入洞5号線】	経済建設	可決
人事案件	議第64号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて【小木曾曉美氏】	省 略	可決
	議第65号	瑞浪市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて【可児恵太氏】	省 略	同意
予算案件	議第66号	平成30年度瑞浪市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決
	議第67号	平成30年度瑞浪市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
認定案件	認第1号	平成29年度瑞浪市一般会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第2号	平成29年度瑞浪市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第3号	平成29年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第4号	平成29年度瑞浪市介護保険事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第5号	平成29年度瑞浪市介護サービス事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第6号	平成29年度瑞浪市駐車場事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第7号	平成29年度瑞浪市下水道事業会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第8号	平成29年度瑞浪市水道事業会計決算の認定について	予算決算	認定
意見書	発議第3号	小・中学校における空調設備の設置促進に向けた財政支援の拡充を求める意見書の提出について	省 略	可決

※ 議第56号から議第65号は内容を分かり易くするため、議案名の後に【 】で補足しています。

議会広報広聴委員
榛葉利広

スポーツの秋、市内小・中学校や地域で運動会が開催。なかでも日吉、釜戸、瑞陵中学校では瑞浪北中学校への統合をひかえ、最後の運動会を地域の方々も参加いただきフィナーレを飾った。
また今年は、酷暑の影響から午前中ですべてが終了する運動会となり、開催時期など今後配慮する必要性が出てきた。子どもたちの健康や安全に十分配慮してもらいたい。
今年度の議会ちゃんねるの編集も3回目。予算決算委員会の設置の影響もあるが、各委員会の内容が薄く委員会審議の原稿に苦慮された委員長さんが多かった。諸事情もあると思うが、条例などの改廃や制定が少ないということは「仕事」が進んでいないということに繋がらないか、議会としても更にチェック機能を發揮していきたい。

編集後記

◆会期
11月27日（火）～12月21日（金）
◆市政一般質問
12月10日（月） 9時～
12月11日（火） 9時～

12月定例会の予定